

2年間に実施したこと

実施中・実施予定の取組

当初計画になかった展開/SHのアイデアを実施

間伐材の活用+森林空間の活用の仕組みづくり →地域の里山に対する関心向上、関係人口の創出

大学と連携して森林空間における認知症予防プログラムの実証研究

飯山市と連携して森林セラピー事業(従前から展開)

里山の維持管理に利用する林道を整備(県事業)

大学と連携して間伐材を活用した古民家建築プロジェクト

大学生の出張カフェ・サークルにログファイヤー提供

里山・森林空間を活用した環境学習プログラムづくり

障がい者が加工作業を行ったものを「飯山ログファイヤー」と命名

障がい者のやりがいづくりとして作業者「コメントカード」を実施予定

障がい者の作業の安全確保のための「治具」の工夫・開発(継続中)

障がい者の作業実証 ⇒ 作業の安全性・使いやすい道具などを検証

作業に参加した障がい者、支援NPO等への意識調査

飯山市内のほかの福祉施設・団体による実証の継続

地区住民(自治会役員等)への説明

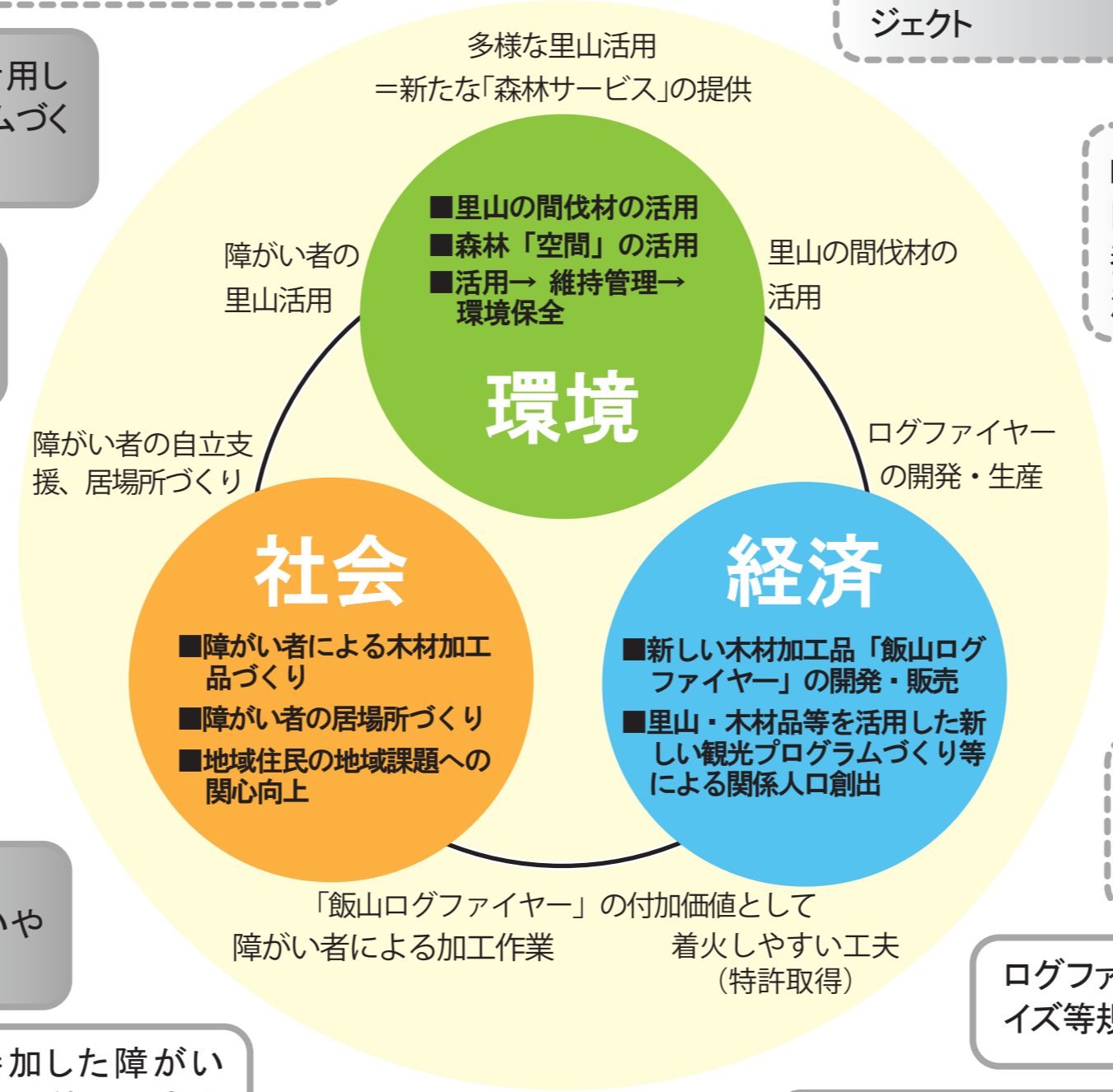
林業家・地域住民を対象にログファイヤー製作講座開催 ⇒ ログファイヤーの製作方法の普及と地域材化

ログファイヤー製作手順マニュアルづくり

ログファイヤー利用者への利用意向調査

旅行会社に里山体験プログラム提案

燃焼実験 ⇒ 含水率別の着火時間の計測



NPOの里山活用プロジェクト「森カフェ」インストラクター養成講座でログファイヤー活用予定

ログファイヤーの全国販売(日本森林林業振興会との提携手続き中)

ログファイヤーの「ふるさと納税」登録(手続き中)

ログファイヤーのオリパラ活用(現在、関係機関と協議中)

ログファイヤーの標準サイズ等規定づくり

間伐材でログファイヤーの生産・販売、地域に普及
↓未利用間伐材に付加価値創出して活用

障がい者による木材加工作業を実証
⇒ 自立支援 ↓ 木材加工品の付加価値として発信